



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
 コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 裕 光司 TEL 042-642-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,945	0.1	548	△7.5	577	△15.8	462	6.4
2019年3月期第3四半期	5,937	9.0	592	55.2	685	51.5	434	47.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 614百万円 (585.5%) 2019年3月期第3四半期 89百万円 (△85.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.28	62.50
2019年3月期第3四半期	58.65	58.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,025	12,851	85.1
2019年3月期	14,012	12,490	88.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,780百万円 2019年3月期 12,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2020年3月期	—	14.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	△0.5	740	△17.7	770	△23.9	560	14.3	76.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年2月7日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	8,305,249株	2019年3月期	8,305,249株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	999,295株	2019年3月期	926,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,312,988株	2019年3月期3Q	7,416,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などを背景に減速傾向が継続いたしました。わが国経済は世界経済の減速を背景に輸出が弱含み、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼、電子部品、化学、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資に向けた動きは一部を除き総じて減速傾向で推移しました。

この厳しい事業環境の下、当社グループはいかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、海外販売拡大に向けた体制構築、食品関連市場の開拓を進めるとともに、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に注力しました。また、当第3四半期連結累計期間には、結晶やガラス素材の高精度加工・測定・評価技術に強みを持つ株式会社光学技研の株式を10月11日に取得して完全子会社化するなど、グループの強化に向けた施策を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,945百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益548百万円（前年同期比7.5%減）、経常利益577百万円（前年同期比15.8%減）、特別利益として負ののれん発生益106百万円を計上したため親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円（前年同期比6.4%増）となりました。また、受注残高は4,189百万円（前年末比109.6%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

世界的な鉄鋼メーカーの設備需要の減退に伴い、品質向上及び生産性改善のための設備更新需要が軟調となりつつあります。このような環境の中ではあるものの、前期末までの高レベルの受注残高を背景に、売上は堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は2,537百万円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益は544百万円（前年同期比12.8%増）となりました。また、受注残高は1,894百万円（前年末比88.4%）となりました。

② ウェブ事業

主に海外からの二次電池、電子部品関連の設備投資需要沈静化の影響により、主力製品である耳端位置制御装置の売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は2,137百万円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益は391百万円（前年同期比38.3%減）となりました。また、受注残高は578百万円（前年末比77.4%）となりました。

③ 検査機事業

多様な無地素材の検査需要を捉えた無地検査装置は、景気動向から各メーカーにおける設備投資が抑制された中、堅調に推移しました。一方、食品外観検査装置では、選果設備の需要が一巡したことから野菜、菓子などの食品検査や海外への需要開拓にも注力したものの、全体として売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は1,078百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失は83百万円（前年同期はセグメント損失46百万円）となりました。また、受注残高は1,203百万円（前年末比132.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて1,012百万円増加して15,025百万円となりました。

これは主に土地の増加489百万円、建物及び構築物の増加348百万円、投資有価証券の増加251百万円による資産の増加があり、一方で現金及び預金の減少860百万円、繰延税金資産の減少40百万円、長期貸付金の減少12百万円による資産の減少があったことによります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて652百万円増加して2,174百万円となりました。

これは主に長期借入金の増加234百万円、社債の増加116百万円による負債の増加があり、一方で未払費用の減少87百万円、未払法人税等の減少17百万円による負債の減少があったことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べて360百万円増加して12,851百万円となりました。

これは主に利益剰余金の増加257百万円、その他有価証券評価差額金の増加187百万円による純資産の増加があり、一方で自己株式の増加64百万円、為替換算調整勘定の減少31百万円による純資産の減少があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境が厳しさを増していることから、本日、業績予想の修正を行っております。

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2020年2月7日付「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,990,128	4,129,885
受取手形及び売掛金	3,280,788	3,376,658
商品及び製品	897,536	1,070,819
仕掛品	550,273	723,240
原材料及び貯蔵品	448,386	580,243
その他	350,699	343,272
貸倒引当金	△11,734	△10,603
流動資産合計	10,506,077	10,213,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,154,227	1,502,679
機械装置及び運搬具(純額)	37,493	115,307
工具、器具及び備品(純額)	62,135	100,516
土地	665,496	1,154,605
有形固定資産合計	1,919,354	2,873,107
無形固定資産		
リース資産	3,480	13,001
その他	129,655	225,931
無形固定資産合計	133,135	238,933
投資その他の資産		
投資有価証券	1,161,082	1,412,652
長期貸付金	95,665	82,800
繰延税金資産	81,332	40,938
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	156,871	203,235
貸倒引当金	△59,331	△58,579
投資その他の資産合計	1,454,324	1,699,752
固定資産合計	3,506,814	4,811,793
資産合計	14,012,891	15,025,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,487	463,342
短期借入金	—	60,000
1年内償還予定の社債	—	14,000
1年内返済予定の長期借入金	41,700	95,058
リース債務	3,533	2,961
未払費用	475,210	387,353
未払法人税等	143,812	126,470
未払消費税等	47,393	59,777
役員賞与引当金	30,300	23,680
工事損失引当金	30,729	54,028
その他	295,653	338,432
流動負債合計	1,460,820	1,625,104
固定負債		
社債	—	116,000
長期借入金	—	234,033
リース債務	—	11,327
役員退職慰労引当金	3,619	74,184
退職給付に係る負債	57,540	95,990
繰延税金負債	—	17,619
固定負債合計	61,159	549,154
負債合計	1,521,980	2,174,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,122,504	4,116,034
利益剰余金	5,670,545	5,928,501
自己株式	△636,911	△701,251
株主資本合計	12,228,491	12,415,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,006	378,048
為替換算調整勘定	52,404	20,702
退職給付に係る調整累計額	△40,288	△33,898
その他の包括利益累計額合計	203,122	364,852
新株予約権	46,627	61,480
非支配株主持分	12,670	9,082
純資産合計	12,490,911	12,851,051
負債純資産合計	14,012,891	15,025,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,937,316	5,945,118
売上原価	3,571,631	3,645,019
売上総利益	2,365,684	2,300,099
販売費及び一般管理費	1,773,025	1,751,971
営業利益	592,658	548,127
営業外収益		
受取利息	7,481	7,038
受取配当金	28,229	28,399
受取ロイヤリティー	29,528	—
補助金収入	19,034	—
その他	15,633	10,561
営業外収益合計	99,906	45,999
営業外費用		
支払利息	899	458
支払手数料	1,900	—
為替差損	—	11,951
手形売却損	2,210	1,740
固定資産除却損	1,675	549
その他	549	2,227
営業外費用合計	7,234	16,927
経常利益	685,331	577,199
特別利益		
負ののれん発生益	—	106,609
特別利益合計	—	106,609
特別損失		
投資有価証券評価損	—	42,946
特別損失合計	—	42,946
税金等調整前四半期純利益	685,331	640,862
法人税等	247,116	182,947
四半期純利益	438,214	457,915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,228	△4,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	434,985	462,784

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	438,214	457,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340,906	187,042
為替換算調整勘定	△27,613	△36,918
退職給付に係る調整額	19,938	6,389
その他の包括利益合計	△348,581	156,513
四半期包括利益	89,633	614,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,067	624,514
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,434	△10,085

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,038,188	2,564,719	1,149,282	5,752,189	185,127	5,937,316	—	5,937,316
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,038,188	2,564,719	1,149,282	5,752,189	185,127	5,937,316	—	5,937,316
セグメント利益 又は損失 (△)	482,731	634,505	△46,614	1,070,622	△26,222	1,044,400	△451,742	592,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△451,742千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,537,958	2,137,949	1,078,630	5,754,537	190,581	5,945,118	—	5,945,118
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,537,958	2,137,949	1,078,630	5,754,537	190,581	5,945,118	—	5,945,118
セグメント利益 又は損失(△)	544,504	391,473	△83,200	852,777	89,315	942,092	△393,965	548,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△393,965千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「その他」セグメントにおいて、株式会社光学技研を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては106,609千円であります。